

日時 2020年9月6日(日) 10:00-12:00 ZOOM 研修

「ファシリテーションでポジティブ行動支援を進める」

講師：星槎大学 教授 三田地真実氏

参加者は129名で、岐阜県の教員、教育委員会、保護者、学生のみならず、全国から受講されました。学校におけるポジティブ行動支援は、子どもの学びや社会性の向上に向けて、学校全体で取り組むエビデンスのあるアプローチです。学校全体で取り組むためには、先生方がケース会議や支援会議をうまく進める必要がありますが、話し合いがうまくいかないことも多いものです。そこで、今回は、日本におけるポジティブ行動を先導している三田地先生を講師にお招きし、「意味のある話し合い」にするためのファシリテーションについて学びました。

最前線の情報があっても、それを同僚や仲間と共有し、検討できなければ実践できません。そのためには、「意味ある場づくり」というコンセプトに基づき、様々な話し合いを見直し、プロセスを見る、安全な場を確保することが重要であることを学びました。そして、実際にブレイクアウトで良い例と悪い例を体験し、またビデオで話し合いの比較を検討する体験型の研修により、ファシリテーションの重要性や理論、その方法を実感することができました。オンライン研修や授業にも役立つ情報も教えていただきました。受講者は明日からの実践に見通しを得たものと思います。

